

父の印をもらおう

6月9日は真の万物の日です。全世界で7時より敬礼式をしますが、教区長はその後、天一国經典出版記念大会出席の為、渡韓いたします。新天聖經と平和経が出版されますが、2020visionの7年路程に向かう際に、とても重要なものになってくるものです。

聖書には印というものは、認められた人、救われた人という意味で記されています。人間が平和と喜びを感じるのはいつなのでしょう？アベルに讃美された時、認められた時、信頼された時に平和が来るのです。反対に不安はいつ来るのでしょうか？アベルを心配させた時、関係が悪くなった時に、信頼が崩れたとき不安が来るのです。

私たちが受ける印は3種類あります。その一つは、「み言の印」です。それは原理講論を読みながら伝道すると言うのです。すると自分も教育されていくのです。私たちは学ぶことにより、ここに来ることを決心したのです。それは奇跡中の奇跡です。み言の威力はどれほど大きいかがよく分かると思います。そして悲しみの父母を知るためには、苦勞の経験をしなければ、その道を知ることが出来ないのです。ですから、幸せを願ってこの道に来ているのに、苦勞が多いというのです。

2番目に受ける印は「愛の印」です。天が送った人を愛するという事です。統一教会を反対してうまくいった国はありません。統一教会には父母様がいて、父母様には天の父母様がいますから。自分自身が迫害を受けないようにその人を愛する事、それがその人に運勢を与えることにつながるのです。

3番目は「心情の印」です。天のものを心配すれば、天につながれた人になります。食口の中で教会の事を一番心配すれば、その人は教会になければならない存在になるだろうし、牧会者につながれた人になるでしょう。

み言の印、み言を实践する、愛の印、天が送った人を愛する、天が願う事、心配することを一緒に心配する、そのような私たちがなっていきましょう。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお祈り致します

- 1、お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
- 2、真の父母様聖和一周年記念 100 日精誠祈禱会

期間：陽5.16～陽8.23 朝の9:30の出発式と17:00に祈禱会
(毎週金曜日と日曜日は17:00祈禱会は行いません)

場所：浦和教会

祈禱項目：

- 1) 真のお母様が御健康であられますよう。
- 2) 真の御父母様の心情体恤と一心一体一念化。
- 3) 絶対孝の精神で、2020日本プロジェクトの2013年目標勝利。
- 4) 理想家庭実現と新氏族的メシヤ伝道勝利。
- 5) 母国の使命である世界貢献と、天一国宣教師派遣完遂。

3、2013 年伝道勝利のための「第2次50 日路程」のお知らせ

路程スローガン：「新氏族的メシヤ活動の定着と爆発的伝道！」

期間：2013 年5月13日(月)～7月1日(月) (50 日間)

路程の評価項目

- ①信仰出発 ②祝禱を受けた家庭数(既成祝福、独身祝福)

4、天一国經典出版記念会

6月10日(月)10:00～ 韓国天正宮博物館

教区長、代表婦人部長が代表で参加されます。

5、東埼玉教区伝道三日路程

6月11日(火)～6月13日(水)

6、東埼玉教区婦人セミナー(通い2DAY)

日時：6月15日(土)～6月16日(日)

7、第2回健康講演会

日時：2013年6月19日 10:30～

場所：浦和サロン

8、幸せセミナー

日時：2013年6月25日 10:30～

場所：浦和サロン

9、天一国フェスティバル実行委員準備会議

日時：2013年6月26日(水)

10、東埼玉教区 天一国フェスティバル

日時：6月30日(日)12:30～16:00

場所：春日部市民文化会館

祝勝晩餐会(祝禱伝授者)は「フラルールガーデン 春日部」にて
17時頃から行います。

【年頭標語】

天地人真の父母勝利解放完成時代 天 基 主 聖 子

天地人真の父母勝利解放完成時代



浦和教会

Holy Spirit Association For Unification
of World Christianity Urawa Church
世界基督教統一神霊協会

教区長：李 炯燮 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12
Tel : 048-886-8774 / Fax : 048-886-8797
E-mail: uc.urawa@gmail.com

第51回真の万物の日式次第



執礼者：李炯燮教区長

司会者：田川 敏 教育部長

開会宣言	司会者
※開会讃頌 天一国の歌	全体
※敬 拜	全体
※家庭盟誓	全体
代表祈祷	司会者
み言訓誦	全体
説 教	第51回 真の万物の日記念メッセージ	
※億 万 歳	全体
閉 会	司会者

～お願い～ ※印のある項目は、全員起立して進行いたします

『 生めよ、殖えよ、地に満ちよ 』

今週のみ言

創造原理の観点から見ますと、万物主管とは第三祝福の完成ですから第一祝福、第二祝福が完成された基台の上で初めて可能になるのです。それゆえ、個性完成した男性と女性が神を中心として結婚し、夫婦が一体となって真の愛を完成し、家庭を形成してこそあらゆる被造物への主管性が確立することを意味しているのです。

しかしアダムとエバの墮落により、本来の愛の主人を失ってしまいましたので、万物は「今に至るまで、共にうめき共に産みの苦しみを続けている」(ローマ8・22)といわれるような状態に陥ってしまいました。

しかし真のご父母様が「父母の日」と「子女の日」を制定されることによって、初めてアダムとその家庭を中心として失った万物世界を再び探し得る基準を準備することができた日であり、言い換えれば真の父母と真の子女が一体となって万物に対する所有を決定し、これを宣布した日が「万物の日」です。

さて、「万物の日」宣布の近因となった内容を考えてみますと、第一に、「天勝号」進水式(1963年6月26日)で、文先生が「きょうこの『天勝号』の進水式を挙げるのは、天と地すべての勝利の出発になる」というみ言を語られたこと、第二に、祖父母・父母・子女の意味を持つ、3代連続行事(祝福)、36双(61年)・72双(62年)・124双(63年)の区切りともいえる、124双の祝福が7月24日に成されたことなどが挙げられます。

そのような基台の上で1963年7月26日(陰暦6月6日)、ソウル本部教会で「万物の日」を定められ、天の子女の名前で天下万物を挙げてささげる「貢献式」をもちました。その席上で文先生は「本年に限り、事情によって日を延ばして記念式典を行いました、翌年からは毎年陰暦5月1日に行う」とおっしゃいました。



統一運動

日本中に広がる国際家庭の輪

「私たちが日本統一教会のモデルとなろう」

国際家庭協会(IFA)は、今から二十五年ほど前に約十五組の国際家庭で発足しました。このとき、規約を決め、会長を選挙で選出して正式に出発したのです。

発足のきっかけはその十年前にさかのぼります。一九七八年に埼玉県神川村(当時)で千六百十双の約婚式が行われ、このとき、韓国以外の国際家庭六家庭ほどが成立。その後、小山田秀生先生が国際祝福を受けた若い姉妹たちを見て「月一回は国際家庭で集まって交流したらいいね」と言ってくださったのです。

最初は、フェローシップ(仲間同士の親睦会)とニュースレターでの交流くらいでしたが、次第に、西洋からお嫁に来たカップルが加わり、さらに、家庭数が増加するに従い、日本語ができない外国人食口の希望で英語礼拝を行うようになっていきました。

